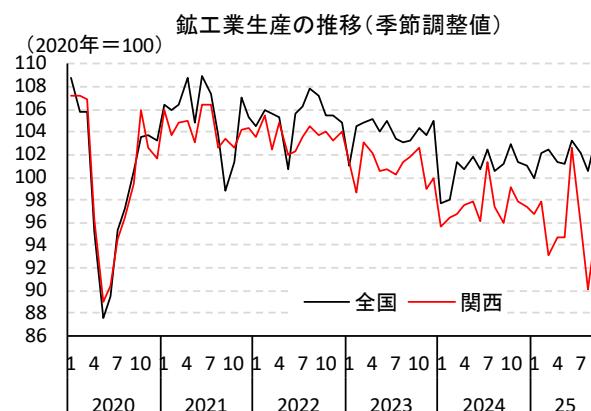
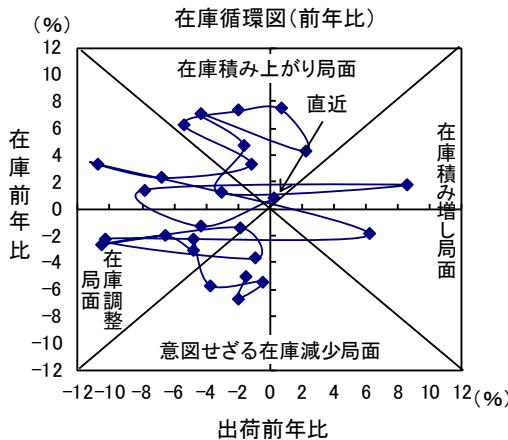
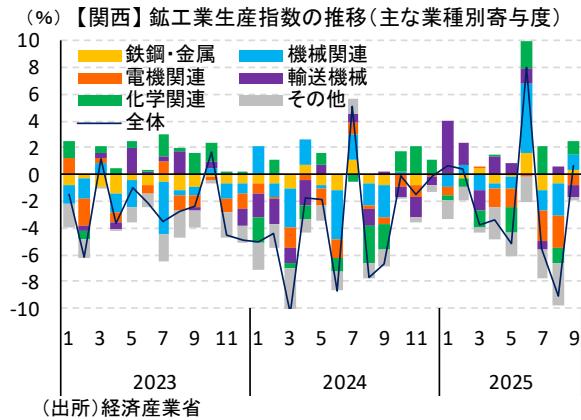
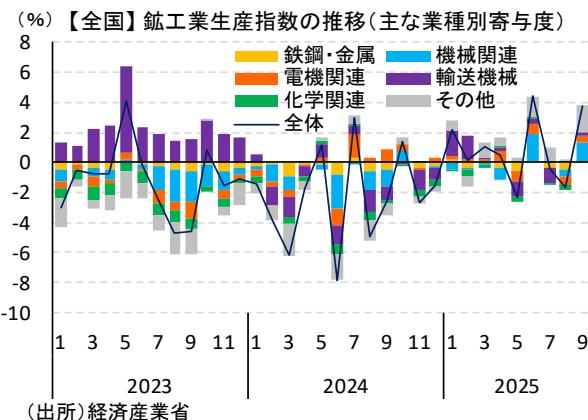


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年9月）】

- 25年9月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で0.6%増と、3か月ぶりの増加となった。業種別には半導体製造装置を中心とした機械関連のほか、化学関連などが増加し、生産全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況をみると、前月までの「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面から、「出荷が頭打ちとなり在庫が積み上がる」在庫積み上がり局面に転じている。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、全体的な水準の低さであろう。23年頃から全国との乖離が目立ち始め、今年6月に一時的な増加がみられたものの、その後は大きく落ち込む形となっている。トランプ関税等の影響で外需も停滞気味であるだけに、今後の回復期待も薄く、先行きが懸念される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。